

下島松宮農集団（北海道恵庭市）

組織の概要

- 2戸の農家で構成。
- 担い手への農地集積が急速に進む状況を見据え、効率的な作業の実施を可能とする生産性の高い麦・大豆産地づくりを推進する。

生産概要

- 作付面積：小麦5.8ha、大豆9.2ha、水稻9.2ha、野菜5.9ha（大根、白菜、キャベツ）、甜菜3.8ha、馬鈴薯2.3ha、緑肥0.7ha（R2年）
- 単収：小麦599.2kg/10a、大豆139.6kg/10a（R2年）
- 水田面積に対して主食用米の作付割合が14.4%を占める水田地域である恵庭市下島松地区の中で、作物ごとの需給動向に即した生産を基本として、土地利用型農業に取り組んでいる。



取組のポイント

<需要に応じた生産を徹底>

- パン用小麦の「春よ恋」、「ゆめちから」を生産し、主にJA道央に出荷している。
「春よ恋」については、需要に供給が追いついていない状況にあるため、作付面積の増加に取り組む。

<団地化の推進>

- 人・農地プランや農地中間管理機構の事業により、農地集積及び団地化を推進し、輪作に取り組む。

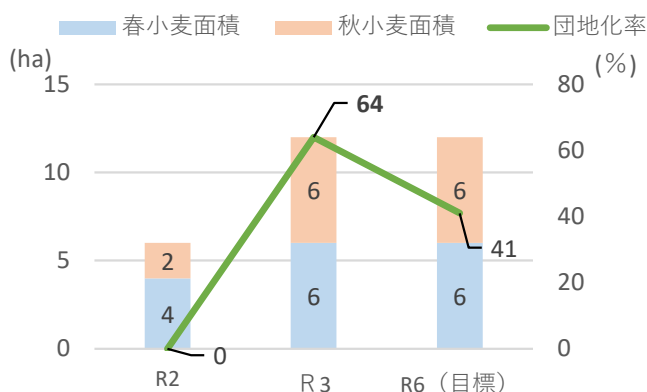
<機械の導入>

- 現在、他地区の農業者に小麦の収穫作業を委託しているが、これが生産拡大の制限要因となっている。
新たにコンバインを導入することで適期収穫を可能とし、単収の増加と作付面積の拡大を図る。

取組成果

<小麦の団地化率・作付面積>

- R2：0% → **R3：63.6%**
(R6目標：40.9%)
- R2：5.8ha → **R3：11.6ha**
(R6目標：11.6ha)



<小麦の単収>

- R2：599kg/10a → **R3：611kg/10a**
(R6目標：611kg/10a)

